

東海公衆衛生学会 総会 議事録

印刷用（PDF版）のダウンロードはこちらから

平成 17 年 8 月 6 日 於 多治見市文化会館

理事長挨拶（徳留・名古屋市立大院教授）、大会長挨拶（西寺・多治見市長）の後、理事長より大会実行委員長（清水・多治見市健康福祉部保健医療統括参事）が議長に推薦され、一同により承認された。

学会事務局（細野・名古屋市立大院）より、本評議会には本出席 43 名、委任状出席 107 名があり、2005 年 8 月 6 日現在の構成会員数 381 名の 1/3 以上の出席となることから、会則第 6 章 28 条 1 により本会は成立していることが報告された。

1. 報告事項

1 会員数、会費納入状況

第 1 回理事会が開催された 2005 年 6 月現在の会員数は 381 名であり、昨年度の大会前から比べると 2 名増加し、会費の未納者は 79 名から 25 名へと大幅に減少した。

2 2005 年度の事業計画

大会実行委員（水野高明・多治見市）より第 51 回学術大会の開催状況が報告された。

3 メーリングリスト、ホームページ、ニュースレター

会員メーリングリストが発足され、現在 197 名の登録がある。これを通して昨年秋よりメールマガジン 2 報、会員からのセミナー、勉強会のお知らせ 3 報が配信された。また、ホームページの維持・管理は前事務局の名古屋大学大学院医学系研究科・公衆衛生学教室が担当しており、ニュースレター、評議員会・総会議事録、本大会の案内などが随時更新されている。

4 理事会開催状況

理事会は年 4 回開催を予定している。第 1 回は 6 月 30 日に開かれ、次回は秋の予定である。

5 役員選挙

第 1 回理事会において、選挙管理委員長に岐阜大学大学院の永田知里教授、選挙管理委員に同大学院の伊奈波良一助教授、同大学院の大庭志野先生、岐阜県西濃地域振興局の田中耕先生の 3 名が選出された。選挙の方法は郵送法による。選出の定員は、理事は地区別 5 名、全域 5 名、理事長推薦枠 3 名（後述のとおり、5 名へ増員）の計 13 名（後述のとおり、15 名へ増員）、また、評議員は地区別に正会員 10 名ごととする。今後のスケジュールとしては平成 18 年 2 月上旬に選挙人名簿、投票用紙を発送し、同月下旬に開票し、年度内最後の 3 月上旬の理事会にて新役員の決定・承認を予定しており、選挙資格は平成 17 年 12 月までに会費を完納していることとする。

2. 審議事項

1 2004 年度決算、2005 年度予算案

2004 年度決算、2005 年度予算案が別紙資料に基づき報告され承認された。

2 会則、細則改定

第1回理事会において東海公衆衛生学会付則の「理事・評議員定員および選出方法に関する細則の1」について、理事の構成に職制を勘案すべきとの理由から、理事長推薦枠を3名から5名に拡大する案が承認されたとの報告があった。これについて会則変更の提案がなされ、審議の結果満場一致で承認された。

3 第52回学術大会

第52回学術大会について、あいち健康の森・健康科学センターで開催される旨が、愛知県健康づくり振興事業団理事長藤岡正信先生より報告された。

以上のすべての議事が拍手を以って承認され、本会が終了した。